



令和3年6月1日（火）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	人文係	立花 昭	代表 0575-28-3111 内線 301 FAX 0575-28-3110

## 令和3年度特別展／岐阜・鹿児島姉妹県盟約50周年記念

とう とう

### 「薩摩の陶と刀」を開催します

江戸中期、薩摩藩により実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年7月27日に鹿児島県と岐阜県との間で姉妹県盟約が結ばれ、令和3年には50周年を迎えます。これを記念し、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島が誇る「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催いたします。

幕末に欧米で絶賛され、工芸のジャポニズムを沸きおこした絢爛豪華な「薩摩焼」、歴史は平安時代にまでさかのぼる「薩摩刀」は世に名高いものの、これまで岐阜県内で紹介される機会は少なく、十分に知られているとは言えない状況にあります。そこで、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の所蔵品を中心として、それらの歴史や優れた技術・技法などを紹介します。

#### 記

- 1 期 間 令和3年7月23日（金・祝）～ 9月26日（日） 開催日数 57日間  
※休館日 月曜日（8月9日、9月20日は開館）、8月10日（火）、9月21日（火）
- 2 開催時間 9：00～16：30 （ただし7月23日（金・祝）は10：30開館）
- 3 会 場 岐阜県博物館 本館4階 特別展示室 （関市小屋名1989番地）
- 4 主な展示
  - ① 刀 無銘（号 朝鮮兼光） 備前長船兼光 （南北朝時代）  
\*島津義弘が朝鮮出兵や関ヶ原合戦で使用したとされる、備前長船の名工兼光が打った豪壮な太刀。
  - ② 国指定重要文化財 太刀 銘 波平行安（号 笹貫）（鎌倉時代）  
\*波平行安は平安時代から幕末明治まで世襲された薩摩の名工で、本作は現存する波平銘では愛知県・猿投神社蔵に次いで古く、鎌倉時代（13世紀）の作例。「波平」を冠しているものでは、最古のもの。
  - ③ 錦手牡丹文花瓶 薩摩 十二代沈壽官 （明治時代）  
\*森山周運の絵付けで作られた大花瓶。素地の余白を生かした豪華な牡丹が見事。
  - ④ 錦手鹿児島八景図大皿 薩摩 慶田政太郎 （明治～大正時代）  
\*山下雪山の絵付けで作られた大皿。「桜島の景」を中心に団扇絵として描かれている。

など 約80点を展示

- 5 入館料 一般600（520）円、大学生300（200）円、高校生以下無料  
※ただし、（ ）内は20名以上の団体料金

- 6 主 催 岐阜県博物館、中日新聞社
- 7 後 援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
- 8 特別協力 鹿児島県歴史・美術センター黎明館

9 問い合わせ先 岐阜県博物館（電話番号0575-28-3111（代））

岐阜県博物館

検索 

- 10 その他
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用や手指消毒、入館時の体温チェックにご協力願います。また、館内への入館者数の制限（200名まで）を実施します。なお、新型コロナウイルスの感染状況により中止・変更とする場合には改めてお知らせします。
  - ・本特別展については、コロナ禍を踏まえ、関係者に限定した少人数での開場式を7月23日に実施予定。